【提案項目】
16　東広島市次世代学園都市構想の推進について

【提案要旨】県全体の発展に資する取組の県・市一体となった推進及び東広島市次世代学園都市構想の取組みへの支援

■提案事項

○　県全体の発展に資する取組みを県・市一体となって推進すること

○　東広島市次世代学園都市構想の実現に向けた新たなまちづくりへの取組みを支援すること

　広島大学と東広島市がまちづくりのビジョンを共有し、Town（街）とGown（学生・教授）が一体となったまちづくりの形成に向けた取組みは、民間企業も巻き込んだ地方創生のモデル的な取組みであり、県全体の産業振興、地域発展に資するものであり、取組みに対する広島県の主体的な参画が必要である。

　令和3年度に策定した「東広島市次世代学園都市構想」の実現に向け、引き続き幅広い支援が必要である。

【提案先：広島県】

東広島市の現状と課題・取組状況

○本市は、賀茂学園都市建設、広島中央テクノポリス建設という2大プロジェクトを柱としたまちづくりにより、一貫して人口の増加を続けるなど、着実な発展を遂げてきた。
　しかし、現在、大学や研究機関、学生や研究者といった人材も含めた知的資源を、市の発展に十分には 活かせておらず、発展の踊り場にあることから、新たな発想でのまちづくりが必要であり、大学のグローバル展開とも結びつき、世界からノウハウや投資を呼び込み、それを起点にイノベーションを起こす仕組みを構築する必要がある。

○現在、市内大学と本市は、持続可能な地域の発展と大学の進化を共に目指すTown&Gownを進めており、広島大学との取組みでは、地域におけるSDGsの達成に向けた課題解決に取り組むとともに、最先端の技術を取り入れながら新たなイノベーションを起こし、世界から起業家や研究者が集まる持続可能なまちづくりを目指している。
　こうした取組みは、全国的にも先駆的なものであり、多くの民間企業からも賛同いただいている。

○令和3年度に策定した「東広島市次世代学園都市構想」の実現に向け、構想の推進母体として民間企業を含めた「スマートシティ共創コンソーシアム」を設置した。
　海外からの優秀な人材を受け入れるための居住環境の創出や先端的技術の実証・実装に取り組む中、新たな市街地開発の形成のほか、広域的に取組みを展開するためにもDX、CN、産業など多岐に渡る分野で県との連携を期待している。

○令和3年度に広島県事業「ゆとりと魅力ある居住環境の創出モデル事業」に採択、現在まで支援を受けている。

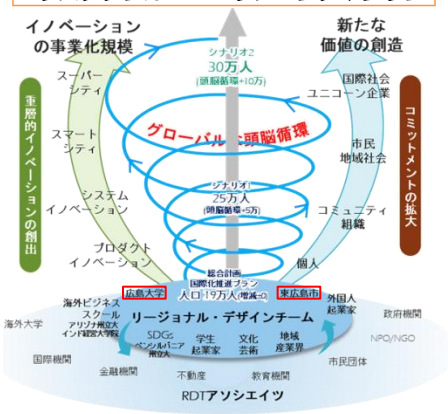
16　東広島市次世代学園都市構想の推進について

【構想の土台となる考え方】

未来ビジョン「DESIGN-i」

地域のポテンシャルを最大限引き出すための未来ビジョン

新しい成長力を生み出す世界的な頭脳循環都市
サステナブル・ユニヴァーシティタウン



【まちづくりのアイデア】

活動を支える基盤と6つの柱

○活動を支える基盤
・スマートシティ実現のためのデータ連携プラットフォーム
　⇒デジ田デジタル実装タイプTYPE2/3採択

○重点プロジェクト
・カーボンニュートラル
　⇒脱炭素先行地域指定への挑戦

○6つの柱
交通／健康・福祉／居住環境／教育環境／防犯・防災／経済・生産

【期待する将来】

○世界から起業家や研究者が集まるまち
○新技術の社会実装と経済の好循環の実現
○ゆとりと魅力ある居住空間の実現
○「適散・適集社会」の新たな都市モデルの構築

【推進母体】 広島大学スマートシティ共創コンソーシアム

【Town & Gown】	【民間企業】
東広島市、広島大学	住友商事、ソフトバンク、フジタ、三井住友信託銀行、中国電力、復建調査設計、ダイキン工業、サタケ、日産自動車、イズミなど

広島大学とその周辺エリアを中心に、最先端技術の実証や国内外から起業家や研究者が集まるイノベーション創造の仕組みを構築し、Well-being、SDGs、ポジティブピースの実現を目指す。

【STEP１】	【STEP２】	【STEP３】	
大学と民間による先行的な取組みの起点として、対外的な関心度が高まる	産学の研究開発が加速し、住民・来訪者が増え、既成市街地への依存度が高まる	街の魅力が増し、新たなビジネスが生まれ住民・来訪者が増加	Well-being SDGs ﾎﾟｼﾞﾃｨﾌﾞﾋﾟｰｽ
短期(２～３年)	中期(５～１０年)	長期(１０～２０年)	(2050年)